

令和7年5月23日

関係各位

公益財団法人日本ソフトボール協会
専務理事 岡本 友章
技術委員長 亀田 正隆

新意匠ゴムソフトボールの取り扱いについて

平素より大変お世話になっております。日頃よりソフトボール競技の普及振興にご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本年2月23日に発表いたしました新意匠ゴムソフトボールの取り扱いについて、発表のとおり令和8年度より日本ソフトボール協会を導入することとなっておりますが、日本ソフトボール協会主催以外での大会等におけるボールの取り扱い、また検定バット表記の取り扱いについて、ご通知申し上げます。

関係各位へのご周知の程、宜しくお願い致します。

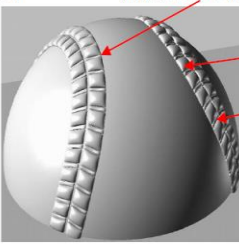
説明資料

- ① 令和8年度以降の日本ソフトボール協会主催での大会等のゴムボールの取り扱いについて
- ② 令和8年度以降の検定バット表記について

① 令和 8 年度以降の日本ソフトボール協会主催での大会等のゴムボールの取り扱いについて

令和 8 年 3 月開催の春季小学生大会、都道府県対抗全日本中学生大会、全国高校選抜大会については、現行の検定ゴム 2 号、3 号を使用。

令和 8 年 4 月以降、具体的には令和 8 年 7 月以降に開催される生涯種別、高校種別の全日本大会については、新意匠のボール『11 inch』『12 inch』を公式球とする。

◆ボールの表記														
新意匠	 3号⇒12インチ	 2号⇒11インチ												
◆ボールの意匠変更点														
・縄目の高さを現行意匠よりも高くして革ボールに近づけました。 縄目高さは現行ボールと革ボールの間、縄目幅/物性等は現行のボールと同じです。 <新意匠サイズ比較> <table><thead><tr><th></th><th>縄目高さ</th><th>縄目幅</th></tr></thead><tbody><tr><td>革ボール 3号</td><td>1.8mm</td><td>12mm</td></tr><tr><td>現行意匠 3号</td><td>0.5mm</td><td>13mm</td></tr><tr><td>新意匠 12インチ</td><td>0.9mm</td><td>13mm</td></tr></tbody></table>				縄目高さ	縄目幅	革ボール 3号	1.8mm	12mm	現行意匠 3号	0.5mm	13mm	新意匠 12インチ	0.9mm	13mm
	縄目高さ	縄目幅												
革ボール 3号	1.8mm	12mm												
現行意匠 3号	0.5mm	13mm												
新意匠 12インチ	0.9mm	13mm												
模式図  指を傷めないようにRを大きくしている 縄目の膨らみを表現している 糸を単純化して表現														
◆ボール規格(サイズ)														
11インチは重さ163g±5g 周囲28.58cm±0.32cm 12インチは重さ190g±5g 周囲30.48cm±0.32cm ※現行ボールと同じです。 ※1号球は2025年4月1日より検定除外														

各都道府県協会・地区協会における取り扱いについて（統一見解）

令和 8 年度の全日本大会予選大会に位置づけられている公式大会においては、
公式球【新意匠ゴムボール:『11inch』『12inch』】を使用してください。

② 令和 8 年度以降の検定バット表記、および 3 号革ボールの商品表記について

ゴムソフトボール 2 号球及び 3 号球が令和 8 年度より新意匠 11 インチ及び 12 インチに表記が変更となることに伴い、バットへの表記は製品安全協会と協議しながら、新しい表記（下記参照）と、現行販売されている商品やユーザーが所有している商品の旧表記（3 号、2 号）のいずれも認められる形といたします。なお、革ボールの表記は現行通り 3 号球のため、バットメーカー（及びバットメーカーのうち革ボールを扱うメーカー）と協議し、革ボールの表記についても 3 号革から 12 inch 革とする方向で今後調整、バットにおける表記は 12 inch、11 inch で統一することとなりました。

本件に関し、大会を主管する各都道府県協会および県内支部協会におかれましては、旧表記であることを理由に試合から当該バットを排除しないことを各加盟チーム、ならびに審判員にご周知頂きますよう、お願いいたします。また、取扱メーカー各社様、および販売店各位におきましても、令和 8 年度以降に新たに製造・販売されるバットの表記で〇〇inch となること、また、メーカーの在庫切替時期に際し、現行の〇号の表記も引き続き使用可能である旨、十分ご留意頂きますよう、お願い申し上げます。

バットへの表示の変更例（ミズノを題材に）

